



「福澤育林友の会」ニュース

第47号 発行日2025年1月10日

福澤育林友の会
東京都港区三田2-15-45 慶應義塾 管財部
TEL: 03-5427-1050 FAX: 03-5427-1190
<http://ikurin.jp/>



「2025年の新春を迎えて」

福澤育林友の会
会長 岡田 英史
(慶應義塾常任理事)

皆様におかれましては、よき新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

世界各地で紛争が発生し、様々な分断と対立が顕著となる一方で、世界規模での取り組みが必要な気候変動問題は待ったなしの状態になってきています。2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全することを目標とした「生物多様性のための30by30アライアンス」に慶應義塾も参加していますが、その取り組みのひとつに自然共生サイトの認定があります。昨年は、南三陸森林管理協議会が申請した「南三陸FSC®認証林」が自然共生サイトに認定されました。この中には、義塾の学校林である志津川山林も含まれています。湘南藤沢キャンパスも自然共生サイトへの登録手続きを進めています。



塾生も学校林で様々な活動を行いました。慶應義塾未来先導基金で教養研究センターが実施している「みなさんmiraiプロジェクト」では、2期生が南三陸の自然や防災に着目した活動や南三陸杉の間伐材を使ったグッズ作成に取り組みました。作成したグッズは、慶應公式グッズへの採用を目指しています。塾生会議「慶應の森についての情報開示プロジェクト」では、日本各地の学校林や日吉の森における一貫教育校を含めた塾生の活動にプロジェクトメンバーが参加して、これらの情報収集と発信を行いました。年末には、協生環境推進室のご協力をいただき、基調講演と学校林における学生の活動報告からなる「みんなの森復権へ」が、協生環境推進ウィーク2024イベントの一つとして三田キャンパスで開催されました。これらの塾生による慶應の森での活動に対しては、多くの関係者の皆様にご協力をいただいております。この場を借りて御礼申し上げます。

今年が皆様にとって良い年となることを心よりお祈りするとともに、引き続き福澤育林友の会へのご支援ご協力の程、宜しく願い申し上げます。

「異動のご挨拶」

繁 森 隆

(日吉キャンパス事務長・

前管財部長、前福澤育林友の会会計幹事)

2024年11月1日付人事異動で管財部長から日吉キャンパス事務長に異動となり、同時に管財部が務める育林友の会の事務局業務からも離れることとなりました。2013年11月から11年にわたり、育林友の会の活動に携わってまいりましたが、その間、研修旅行や講演会など数々の楽しく、そして興味深いイベントに参加させていただき、とても良い思い出になりました。また、会員のみなさま、そして役員のみなさまにはたいへんお世話になりました。この場をお借りして御礼を申し上げます。10年以上にわたり事務局を担当し、この間、たいした貢献もできませんでしたが、みなさまのご協力のおかげで大過なく全うすることができました。コロナ禍のたいへんな時期を乗り越え、活動を再開することができたのも、会員のみなさまの強い期待があったからこそ、と思っております。

育林友の会の事務局を務めて感じたのは、育林友の会の活動は会員のみなさまの熱意と塾員林業家の方々のお力添えにより成り立っている、ということです。研修旅行で各地の森林を訪れた際も、所有者である塾員林業家の方々が、森林の視察だけでなく、周辺の観光、食事の場所まで、綿密に検討され準備してくださっていました。また、林業家である役員のみなさまも講演会や研修旅行の企画、様々なご調整にたいへんご尽力いただきました。そしてそれにご参加くださる会員のみなさまの森を愛するお気持ち、熱意、これらのうちどれか一つが欠けてもこの会の活動は成り立たないということをつくづく感じました。

1年前の「福澤育林友の会ニュース」で岡田会長から紹介があった「慶應義塾SDGs会議－塾生会議－」の学校林プロジェクトも引き続き取り組みが続けられております。森林はSDGsにおいて非常に重要な要素であり、様々な可能性を持ったフィールドとして、学生たちも興味を持って取り組んでいます。この塾生会議のプロジェクトで、学校林事業の目的である「教育・研究への活用」が実現されていることをとてもうれしく思います。この塾生会議は私の異動先の日吉キャンパスを中心に行われています。また、日吉キャンパスには「日吉の森」という都市部には珍しい広大な森があり、その維持管理も日吉キャンパス事務室の重要な業務の一つになっています。異動後も森に関わり続けることとなり、管財部時代に長く関わった学校林との強い縁を感じています。



2014年南三陸への研修旅行にて(左上が繁森事務長)



2017年志木の森にて(左上、塾旗を掲げる繁森事務長)

2024、2025 年度のイベント実施について

■研修旅行について

2024年度の研修旅行について10月に実施を予定しておりましたが、残念ながら参加人数が催行最少人数に達せず、中止となりました。別案での検討を進めており、下記の日程で日帰りのバスツアーを計画しております。

日にち：2025年3月22日（土）
行先：埼玉県名栗 自由学園の森見学会

速水林業 速水さんのご紹介で、見学研修会をさせていただけることになりました。慶應義塾の学校林とは異なる「学校林」を見学させていただくことで、新しい学びや発見があることと思います。埼玉県の山深く、正丸峠を起点に自由学園の植林地の見学を予定しております。自由学園の森見学会の後は都内に戻り、三田1丁目に3月に竣工予定の新しい建物（南三陸の杉材を内装に使用しております）のミニ見学会が実施できるよう調整中です。懇親会の開催も検討しております。実施詳細や、申し込み方法については別途ホームページなどでご案内をいたします。

なお、2025年度の研修旅行については現在未定となっております。ホームページや、友の会ニュースなどでお知らせをいたします。

■森を愛する人々の集いについて（講演会）

2025年度の「森を愛する人々の集いについて」シンポジウム詳細に関しましては、下記の内容にて調整中です。詳細が決まりましたらホームページにてお知らせいたします。

日にち：2025年6月14日（土）15：30～（予定）
場所：慶應義塾大学 三田キャンパス 東館6階 G-Lab.
講師：一ノ瀬 友博 氏（慶應義塾環境情報学部長）
演題：『南三陸慶應の森の自然環境と生物相』

南三陸慶應の森は、慶應義塾が有する学校林の中で最も規模が大きく63haの面積を有している。2024年10月には周囲の森林とともに環境省の自然共生サイトに認定された。環境情報学部一ノ瀬研究室では、2023年度から環境モニタリングを実施している。講演会では、南三陸慶應の森の生物相とその自然の魅力について紹介したい。

※講演会終了後、懇親会も三田キャンパス内にて開催予定です。

一ノ瀬教授は2023年より、南三陸の慶應の森にて複数回にわたるフィールドワークを行っております。SFCの学生や、東京電力とも共同の調査を進められておりましたので、その成果についてお話いただける予定です。こちらもぜひ奮ってご参加ください！

寒さ厳しき折、皆様体調など崩されないよう、何卒ご自愛ください。

